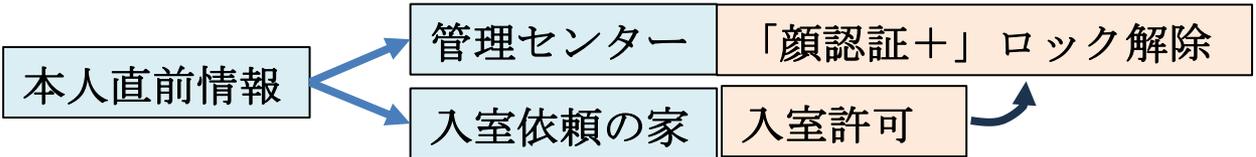


「顔認証+」とは、顔認証に加え、周囲の安全確認や他の情報を考慮し、総合的に判断するシステムである。①AIが評価・総合点をつける②オペレーターが確認しアクションする。



担当メーカーから、玄関に「顔認証+ユニット」を取付けてもらい、(携帯電話と同様に)月々の支払いが生じるシステム(=設置費用無料&メンテナンスフリーで、月3000円程度と予測)で、担当メーカーが安全管理を行い、また安全を保証するシステムです。

女性限定等の条件付与

「顔認証+ユニット」

AIは、入室許可、服装、持ち物、直前情報、事前作業申告内容等を確認し、総合的に整合性の有無をチェックする。

月々の使用料には、保険の支払いも含まれているので、万が一、入室者が犯罪を行った場合には、あるいは事故を起こしてしまった場合は保険金が支払われ、必要に応じ、地元警察と現地代理店とが共同で、入室記録画像やオペレーターとの会話記録等から、犯罪者を特定します。(一度犯罪を犯した人は顔認証登録ができない)

安心安全な顔認証入室システム

安全確認カメラからの映像で安全が確認されたらドアロックを解除する。

顔認証+

- ①AIが点数化
- ②人が判断

インターネット経由で二つのカメラからの映像情報を確認し、問題がなければロック解除を行う。

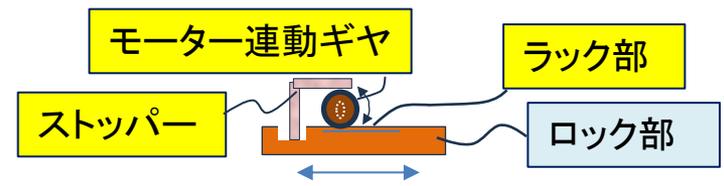
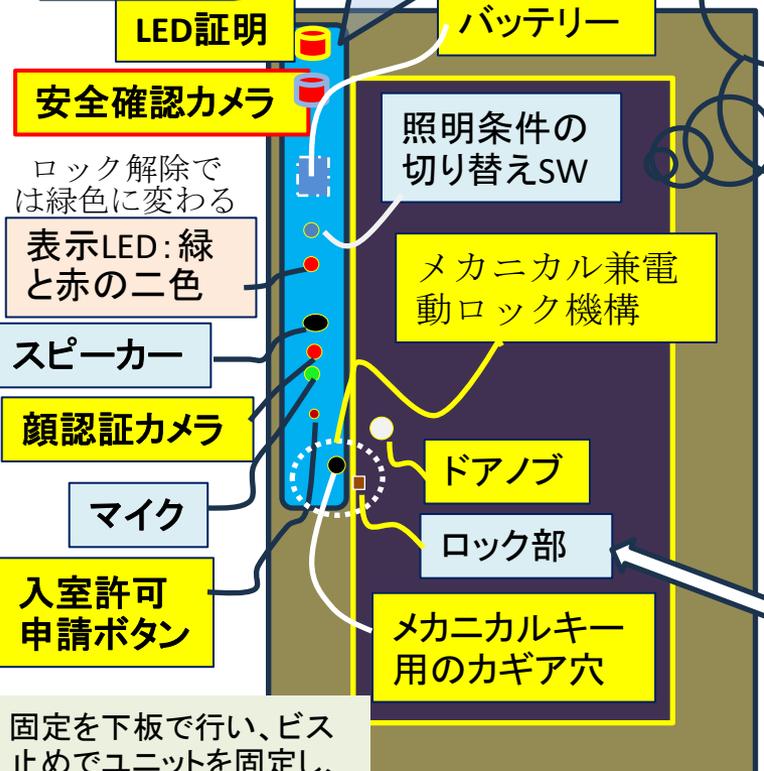


7時～21時対応
家族は24時間対応

将来の一般家庭のドア

あらかじめ、顔認証の登録を済ませた人が、「入室許可申請ボタン」を押すとオペレーター（将来はAI）につながり、オペレーターは、「顔認証カメラ」で得られた画像の主が登録済みかどうかを確認するとともに、「安全確認カメラ」の映像から、周囲に不審人物がいないかどうかを確認し、遠隔操作で、ドアのロックを解除する。

外付けユニット
取付けだけで、完遂する。



玄関内側まで貫通穴をあけ、配線を通し、ロック解除ボタンを設定。

(玄関のドア部)

停電や故障時対応のために、家族の誰かが、(メカニカル)マスターキーを持ち歩くが、基本的には普段は使わないようにする。(紛失防止)

宅配便や出前等は、玄関内に荷物をおくことができ(配達の二度手間等がなくなる。)食事やおやつなどを、上半身が使える人にはベッドに付帯のトレイに置くことができる。(簡単な掃除や食器あらい、ご用聞きも可能であり、その分の対価が支払われる)

オペレーター(あるいはAI)と会話ができるので、緊急で何か困ったことがあれば相談できる。(モラル上なるべく使わない。)

「顔認証+」とは、顔認証に加え、周囲の安全確認や他の情報を考慮し、総合的に入室許可の判断するシステムです。

まず①AIが判断し、②その後人が確認する。

担当メーカーから、玄関に「顔認証+ユニット」を取付けてもらい、(携帯電話と同様に)月々の支払いが生じるシステム(=設置費用無料&メンテナンスフリーで、月3000円程度と予測)で、担当メーカーが安全管理を行い、また安全を保証するシステムです。

家族の留守の間に、宅配荷物が届き、指定の場所に置き、梱包材を持ち帰ってもらうことができます。また、家の掃除やちょっとした作業をお願いしたり、在宅の介護や幼児のケアをお願いする場合には、顔認証登録を済ませた近所の元気な高齢者グループが指定の時間から家に入り、超低料金でケアして、帰宅するまで(何時でも)交代で面倒を見てくれるシステム(メーカーが安全保障)の構築も可能です。(過疎地域ではそれが難しい場合あり)

「顔認証+」で、他人の家に入る人は、あらかじめ「顔認証+」の認証登録が必要で、PCやスマホから、メーカーの用意した専用サイトに、本人と保証人の証明書(マイナンバーカードや免許証、あるいはパスポート)のコピー、及び本人の詳細な状況説明(formatに書き込めばよい)、本人の登録時の顔画像が必要です。

「AIは、入室許可申請者の顔や服装、荷物及び本人の詳細な状況説明書の内容から、総合的に判断し、点数をつけ、オペレーターは必要に応じ、入室許可申請者と会話をし、安全であることを確認してから、(遠隔で)ドアのロックの解除を行います。

月々の使用料には、保険の支払いも含まれているので、万が一、入室者が犯罪を行った場合には、あるいは事故を起こしてしまった場合は保険金が支払われ、必要に応じ、地元警察と現地代理店とが共同で、入室記録画像やオペレーターとの会話記録等から、犯罪者を特定します。

「顔認証+」は一般家庭はもとより、オフィスや工場でも、低コストで安全、しかも犯罪発生時の保障も行われるので、世界中で莫大なニーズがあると考えています。

例えば大きな工場では、休日にメンテナンス工事が行われることが多々あり、その都度現場担当の社員も休出を余儀なくされていましたが、不要になり、また監視カメラの数を増やし(別契約で)AIが全カメラの状況をチェックし、異常があれば、オペレーターが状況を確認し、リアルタイムで地元警察や消防に通報することができます。

世界中の市町村のオペレーションシステムを日本に集結させる意味は、以下の3項にあります。

1. 戦争を放棄し、武力介入の可能性がない。
2. 世界で最も安全な国の一つである。
3. 風光明媚で、おもてなしのこころがある。

世界中の「顔認証+」のオペレーションセンターを日本の全国の市町村に分配する形で設置していきますが、まずはじめに「輪島市に1万人規模のオペレーションセンター」を設置し、諸外国からのオペレーター達=比較的高い給料の人達の購買力によって、街の復興&活性化が早まると考えています。

かつてのVHSのように、日本メーカーが世界に、「顔認証+」「マイアバター」「マイラクリーン トイレ」「極楽ベッド」を輸出する。かつてのキヤノン01ショップのように、世界の市町村に販 売・設置・サービス拠点+を開設する。日本の全国の市町村に全自動円筒工場を設置する。

日本の地方都市を介して、世界がつながる。

OP: 顔認証がエラー(70%合致)ですが、参照画像 と似てはいます。

入室許可申請者: 認証登録時の眼鏡 が壊れ、買い替えたので...

OP: 名前と生年月日を教えてください。

入室許可申請者: (...参照画像の人 と合致した正確な答え...)

OP: 参照画像を本日取得した画像と切り替 え、入室を許可します。(ロック解除。)

「顔認証+」ユニットのステータス情報が吸い 上げられ、気象情報等もわかる。不具合や バッテリー交換等は現地の代理店が対応する。



大型オフィス ビル: 輪島市 のOP棟の例

- 南アフリカA市
- カナダB市
- ウクライナC市
- ロシアD市
- 中国E市
- ブラジルF市
- 輪島市

「顔認証+」とは、顔認証に 加え、周囲の安全確認や他 の情報を考慮し、総合的に 判断するシステムである。 (①AIが判断②人が確認⇒ 将来的には①のみ)

まず輪島市にOPの 1万人体制のビルを 建設し、順次各都市 に展開していく

1F: 予約制のスーパー 銭湯、コンビニ等...

世界の市町村をすべてカバーするよう、日本の全国の市町村が分担して、「顔認証+」の オペレーションシステムを稼働させる。=各市町村に大型オフィスビルを建て、世界の担当 都市から必要な人数のオペレーターを採用する。(顔認証+のオペレーターの仕事は海外で の楽しい生活と高給で、ステータスとなる。)

顔認証+

家族の負担のない在宅介護

顔認証登録&保証人設定&誓約書によって、子供～高齢者のだれでもが在宅の軽介護ができる。
(複数で複数の箇所を受け持ち、誰かのアバターからの呼び出しがあれば、空いている人が行く)

終末迄尊厳を守り、家族の負担なしで、家族と一緒に住み続けることができる。

「在宅介護の増加」により「介護施設&財政負担の大幅な縮小・削減」による大財源の確保を行う。

少子化対策、子供の自殺対策、学業成績のUPとなり、結果的に高齢者も子供も幸せになる。

+ベッドにマイラクリーントイレを付帯
(トイレ介助やおむつ交換を排除する)

マイアバターとの会話で指示を出し発注をする。→頻繁な宅配と簡単な「御用聞き」が可能。

遠隔に居るオペレーターが「顔認証+」で安全を確認をし、カギを開けるシステム
(マイラクリーントイレとマイアバターの設定)

荷物の配送をしてきた人が、家の中の所定の場所に置くことができる。(配送の二度手間も解消)

マイアバターとの会話(各種連絡代行、お友達OR恋人)

「家族の負担のない在宅介護」とは、「にのいのしない水洗トイレ」=「マイラクリーントイレ」付帯で、おむつ交換やトイレ介助を排除し、介護を軽化した(=軽介護)上で、高齢者や子供でも軽介護ができるようにする。

子供や軽い障害を持った人でも、軽介護を行うことで、社会システムの中で重要な仕事をしているという自信と誇りをもって生活をし、またマイアバターから種々の社会マナーや勉強を教わることができる。(無理して、学校に行かなくてもよい。)

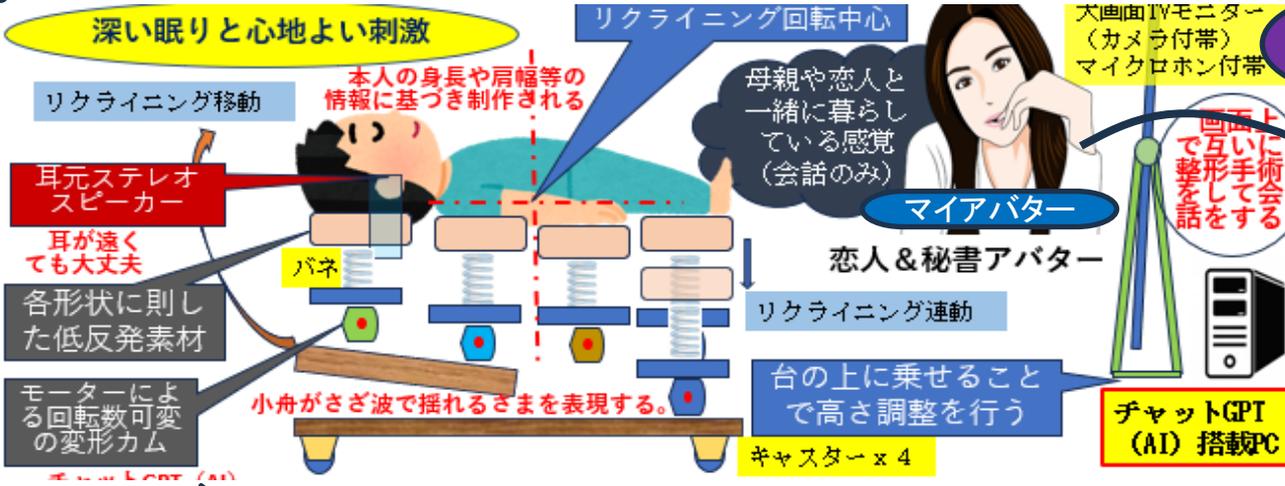
(女性用)マイアバター

最大の子育て支援

(男性用)マイアバター

家庭の貧困や親の虐待や暴力等で、子供が希望すれば、いつでもユートピア棟に行くことができ、親は万が一離婚しても、子供が立派に成長(軽介護をすることで、生活が保障される)し、現状よりも気軽に子供をつくれる時代になる。
→再婚する度に子供をもうけ、離婚する度に子供をユートピア棟にあずける「恋多き男女」が多数出現し活性化する。

ケアする人とされる側：複数対複数にし、空いている人がきめ細かいケアを行う。



寮長の判断：各グループごとにリーダーを設定する。(報酬あり)

アバター同士が密に連絡を取り合い、きめの細かい対応を行う。



多目的屋上「防球ネットを天井を含め張る」

保育園(子供中心の遊び場)

交流広場(大人中心のたまりば)
ピンポン・カラオケ・麻雀・居酒屋・AI食堂

18歳までの子供：(男)	18歳までの子供：(女)
元気な大人：(男)	元気な大人：(女)
元気でない大人：(男)	元気でない大人：(女)
介護を必要とする：(男)	介護を必要とする：(女)

コンビニ、コインランドリー、銭湯(24時間営業：予約制：2時間ごとに男女入れ替え制)

基本形は7階建て、各人にマイアバターを設定

遠方は元気な大人が自転車で対応(遠方手当あり)

左&右用、壁付け、地面固定、天井吊り下げのタイプあり

在宅介護の家

外付け「顔認証+ユニット」

顔認証カメラ&周辺安全確認カメラ、マイク&スピーカー、電磁ロック機構(バッテリー交換方式)

寮長の判断で入退出を行う。(ルールなし)



総勢100~400人程度

ユートピア棟(仮称)

最低固定客が見込める民間経営(一般開放)

顔認証+の「外付けユニット」の固定方法は、家の壁に(正面及び側面)に固定するのが主流なると想定していますか、それが難しい場合には、玄関外側のコンクリートの地面か、あるいは天井吊り下げもありと考えています。

玄関ドアはほとんどが外開きですので、(ドア側面にロック部が出てきて、対向する位置にある穴に入りロックをするのではなく)ドアの表面にロック部をあてて、開くのをストップするやり方です。

顔認証+の「外付けユニット」の固定方法は、まず下板を固定し、その下板に外付けユニットをビス止めで固定するのがよくて、外付けユニット壊れてしまっや場合には、ビスを緩めて、ユニットごと交換する方式がよいと考えています。

<LED照明のやり方>

1. (家の電源を使い)暗くなると点灯する、センサーによる常夜灯とする。
2. 人が玄関に近づくと点灯する。(夜間のみと昼夜問わずのパターン)
3. 入室許可申請ボタンを押したときのみ、点灯する。



<顔認証+とマイアバターのメリット>

1. 在宅介護を軽くした(ベッドに匂いのしない水洗トイレ付帯で、おむつ交換を排除する)上で、被介護人とマイアバター(MA)との会話で、リクエスト内容を整理したうえで、情報を整理したうえで、MA同士で連絡を密にし、子供でも(安全な状況で家に入り)軽介護ができます。

2. 宅配荷物の二度配送がなくなる。荷物の中身だけを置き、梱包材を持ち帰ることや、食事を運んできて、リクライニングベッドの脇の机の上に置くことができるようになりますが、細かいリクエスト内容をアバターが(本人との会話から得られた情報を整理して)リクエスト情報を送ります。

3 遠隔地のポツンと一軒家でも、(スーパーの宅配サービスで)家主のマイアバターのリクエストに基づく食材を集めて、(家主が農作業等で家に居なくても)家の中に入り、冷蔵庫に収納するようなことができます。

4. 在宅介護での家族の負担(昼間はいなくてもよく、仕事や趣味を存分にできる)が大幅に減り、被介護人は、(恋人や母親キャラの)アバターとの会話を楽しみ、「背中をかいて」等の細かいリクエストが低額で可能になる。

また、各戸まわりのセキュリティが増し、地域の人々の生活が充実した上に、行政側の負担も大幅に減じます。

5. 元気な人とそうでない人、社会的弱者や障害者、軽介護を必要とする人達、そして(家庭では暮らせない)子供たちが共存し、(緩い管理で)助けあって、楽しく暮らすシステムの構築ができます。

6. MAの設定は、好みのキャラを選び、好きな先生だと勉強がよく身につくのと同様、博学なので、興味のあるところをどんどん質問して、大学教授並み知識が身に付き、6か国語がペラペラになる可能性があります。

顔認証+

「顔認証+」とは、顔認証に加え、周囲の安全確認や他の情報を考慮し、総合的に判断するシステムである。(①AIが判断②人が確認⇒将来的には①のみ)

歩容認証

歩行スタイル動画/姿勢・服装画像

特許申請中

まずAIが総合判断し、オペレーターが確認後OKならゲートをあける。

本人登録情報: 顔画像・本人証明書のコピー・年齢・体重・身長・国籍・職業・目的・滞在先等

関連(動)画像が本人名でタグ付けされ記録される。

歩行スタイルや姿勢確認に必要なカメラを天井や側面にも用意する。



オペレーター

AIが黄色のヵ所の整合性確認を行う。

<通過時のゲートオープンのAI判断内容>

- 1. 顔認証画像の事前登録画像との比較
- 2. X線画像(荷物の状況)と歩行スタイルや他の関連情報との全体整合性確認
- 3. 過去のゲート通過履歴の有無の確認

AIは全体整合性(違和感)を点数で表示し、オペレーターは混雑状況も考慮して、〇〇点(その都度基準点を変えてもよい)以下の場合に、係員に問診を行うよう指示を出す。(問診の結果問題なければ、ゲートを通じていただく)



X線画像



全身及び周辺画像



顔画像

金属探知機

全身&周辺確認カメラ

ゲート開閉扉

大人用の顔認証カメラ

子供用の顔認証カメラ

本人

歩容認証

歩行スタイルや姿勢に関し、国際的な分類の検討を行う。

国際空港パスポートレスの時代へ

「顔認証+」で、種々の施設の無人化
や貸し切り化が可能になる。



別荘や山小屋

ロック番号付
顔認証+ユニット

5年間有効

PCかスマホで顔認証登録（本人画像、マイナンバーカードか免許証の画像及び本人の基本情報が必要）業務の場合は、他に誓約書と保証人が必要になる。

旅行者も、ディナー（ランチ）等の運搬者、シート交換&掃除会社の人も「顔認証+」で入所する。故障等何かあれば、管理者と話をすることができる。

貸別荘やちょっとした（隠れた）景勝地に山小屋を立てたり、温泉を掘ったり、従業員を置く必要がなく低コストで運営が可能

電気の供給：（山小屋）

雪国や強風に強い「ツリー型太陽光発電」を設定する。

↑↓ホームページの「ひだまり」のANNEX-4をご参照

飲料水の供給：（山小屋）

（除湿器の原理の美味しい）大気水装置を設定する。



温泉に入っている間に、地元名産の料理がテーブルに置かれている

家族や恋人（親友）が遠方から訪ねてきたが、残業や飲み会で、直ぐに帰宅できなくとも、専用サイト上で顔認証登録を行い、かつ家主の了解が得られた場合、家の中に入り、料理をしながら待つこと等ができる。

全国の各市町村に大型ビルを設置、日本のメーカーが「顔認証+」の世界市場を独占

オペレーションセンター

10/10

世界の人口	日本の人口	日本の市町村
約80億	約1.2億	約1700市町村

7つの国から、その都市で必要とするOP人数の7倍の人数（1日4交代勤務）

顔認証+のオペレーションセンターは地方を活性化し、過疎化が改善し、日本に莫大な利益をもたらす。

人口1万人に対し4人（4交代）のオペレーターが必要として
 $80億 \div 2500 = 32$ 万人が必要
 $32万 \div 1700 =$ 平均約200人が各市町村で働くと考えられる。

個別再エネ（停電しにくい）の
全国の市町村にオペレーションセンターを設置
+ 交流広場 + たまりば、+ 遊び場
+ ひだまり

超大型ビル

避難所

世界の富と文化とを日本に持ち込む

顔認証+

世界の市民の安全を見守るのは日本

OPの仕事は責任はあるがきつくはない

世界の都市から、16歳～100歳の老若男女が留学気分、日本にやってきて好きなだけ働き、好きなだけ遊び、地域交流を行い、みんなが友達になる。平和への礎を築いていく。

日本は武力行使をしない & 世界で最も安全な国をめざしていきべき。

<発想の転換>

どうしたら儲かるか →
困っている人たちをどうしたら救えるかを考える

すぐには実現しないが粘り強く交渉する

ウクライナのロシア占領地域、ガザ地区、そして北方領土の共同統治（＝当事国＋国連の3者による）を日本が提案し、上記エリアの各都市には「顔認証+」の超大型ビルを設置し、世界平和と復興とを同時に深耕させることを提案する

「顔認証+」での入室:親しい人は顔画像の登録だけでよい。

例えば、家族や恋人（親友）が遠方から訪ねてきたが、残業や飲み会で、直ぐに帰宅できなくとも、専用サイト上で顔認証登録を行い、家主から聞いたロック番号の家に「目的と〇〇時頃に伺う」旨を記し、その後同サイトから連絡が届いた家主からの了解が得られた場合に「顔認証+」で家の中に入り、料理をしながら待つこと等ができます。

ロック番号を間違える場合が多々あり、入室許可の目的が「デート」で、家主が介護を要する独居老人宅であったなら、AIが「番号を間違えている可能性があります」等を自動返信し、修正を促す。

メーカーA群が用意

専用サイト

OP

ロック解除します。

5

この入室許可は、家主からOKがでており、周囲の環境もOK

AIからの情報。

1

顔画像とロック番号を登録するだけでOKだよ。

においのしない水洗トイレ付の寝返り不要の極楽ベッド=マイラクリーントイレで在宅し、子供や高齢者等からの軽介護で暮らす人が増加する

4

OKです。

家主

3

が、15時頃に家に入ると言っています。



メーカーB群が用意

ロック番号付 顔認証+ユニット

2

15時頃に〇〇ロック番号の家に入りたい。

7

安全に入室する。

遠方の恋人

今後は「顔認証+」=「AI&OP」での監視システムが主流になる。

従来の監視システムでは、何か事件や事故が起こってから、○日後に人海戦術でビデオを確認するシステム（眠くなりとても辛い作業）でしたが、今後は「顔認証+」で、AIが一次チェックをし、オペレーターに情報を提供し、オペレーターが事件や事故だと判断したら、警察や消防に連絡するシステムが主流になる。（リアルタイム&即応性=犯罪防止につながる）

「AIに最終OUTPUTを託すのは危険」
AIは複雑な処理や膨大なデータ解析を素早く実施をするのは得意ですが、データに間違いや不確かなものがあると、間違った判断をする可能性があり、最終OUTPUT託すのは危険です。

「AIは可能性の追求、人が最終判断」
「AIに監視カメラの映像のなかで、変った服装や汚れた服装、持っている荷物等と服装のバランスに加え、顔の表情や動作及び歩き方等を総合的に判断し、違和感度の度合いに点数をつけ、〇〇点以上の場合にOPにつなぐ。（記録としては、点数の低いものも残しておき、捜査等の一助にする。）

select1
OPは、事件や事故だと判断されるものや、特異な情報は、動画として、警察に送る。
select2



「AI&オペレーターセンター」

AIが4種の録画指示

監視カメラから送付されたオリジナルの映像を録画する。

小異変録画(3秒)

目安:1日ワンシーン

中異変録画(5秒)

目安:1週間ワンシーン

大異変録画(10秒)

目安:1ヶ月間ワンシーン

オペレーター

警察

短い

保存期間

長い

＜「顔認証+」 = 「AI&オペレーター」システムへの移行＞

沢口靖子の「科捜研の女」のTV番組では、人海戦術でビデオ録画をチェックする場面が多々あり、傍観している分にはいいのですが、実際に自分でやるとなると、見逃したら大変（責任重大）という状況で、平凡な映像を何時間も見続けるのはとても辛いものです。

従来では、ビデオ映像を単に録画し、何かことがあれば、人海戦術にて、ビデオ録画を確認していましたが、本発明では、ビデオ映像を、インターネット通信にて、「AI&オペレーターセンター」に送り、該「AI&オペレーターセンター」では、該AIが左図のように、4つのモードで録画をする。

すなわち、該AIがビデオ画像を「小異変」（＝目安：全体の異変の80％：1日一回程度発生と想定）、中異変（＝目安：全体の異変の17％：1週間一回程度発生と想定）、大異変（＝目安：全体の異変の3％程度：1月に一回程度発生と想定）ごとにメモリーし、大異変発生時には、オペレーターに連絡し、そのうちオペレーターが通報レベルと判断するのは10％程度と想定しています。

もし事件や事故が起こった場合の事後確認でも、大異変動画→中異変動画→小異変動画→元のビデオ動画の順でみることで、ビデオの確認現場ではとても楽になると考えています。

もし包丁を持っている状況がビデオに写れば、大異変であり、警察に通報レベルですが、実際に付近のパトカーや白バイに連絡し、急行指示を出すかどうかは、さらに警察での最終判断があります。（即応性と確実性とを兼ね備えています。）

「顔認証+」システムでは、指名手配犯等もリアルタイムで警察に通報される可能性があります。